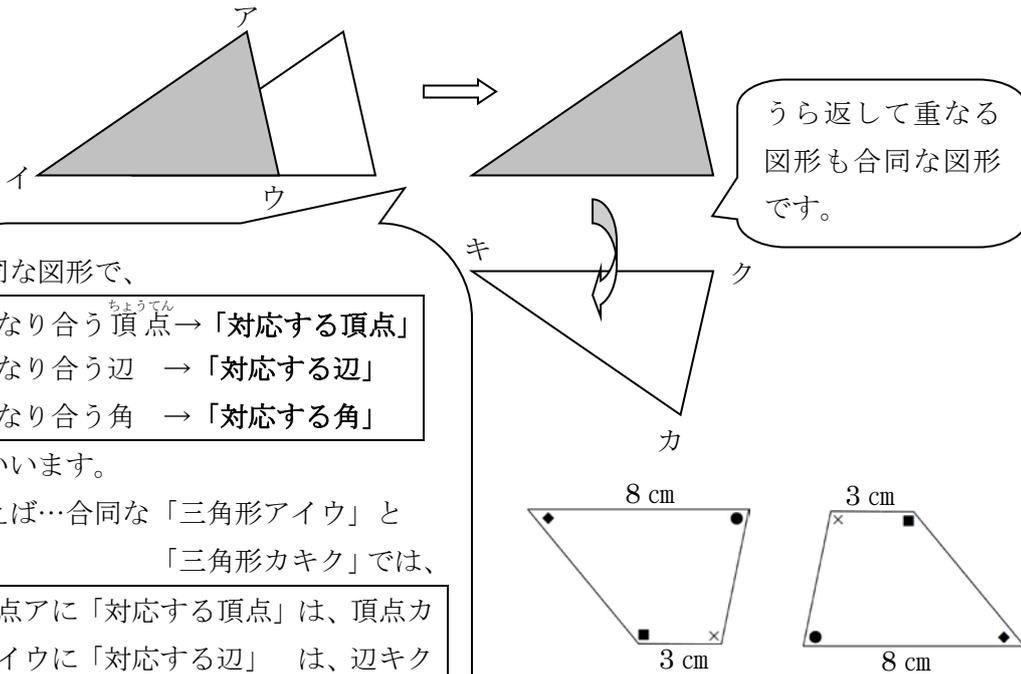


5年 15 解説	図形の合同	___年 ___組
		名前

ぴったり重なる図形

2つの図形がぴったり重なるとき、2つの図形は**合同**であるといいます。



合同な図形で、
 重なり合う頂点 → 「対応する頂点」
 重なり合う辺 → 「対応する辺」
 重なり合う角 → 「対応する角」

といいます。

例えば…合同な「三角形アイウ」と「三角形カキク」では、

頂点アに「対応する頂点」は、頂点カ
 辺イウに「対応する辺」は、辺キク
 角ウに「対応する角」は、角ク
 となります。

合同な図形とは…

- ① 対応する辺の長さは等しい
- ② 対応する角の大きさは等しい

合同な図形のかき方

合同な三角形のかき方（3つの方法があるよ。）

- ① 3つの辺の長さを測ってかく（じょうぎ または コンパス）
- ② 2つの辺の長さ、その間の角の大きさを測ってかく（じょうぎ と 分度器）
- ③ 1つの辺の長さ、その両端の角の大きさを測ってかく（じょうぎ と 分度器）

四角形や五角形などの多角形は… 三角形のかき方を使えばかける！

